

全国学力・学習状況調査の目的は？

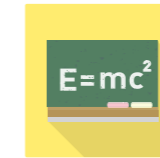
子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、教育の成果と課題を検証します。また、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

学力調査だけがクローズアップされがちですが、それだけでなく、学校での授業形態、子どもたちの家庭での学習への取組状況や生活リズム、地域行事への参画など幅広く質問紙で調査しています。



小林 指導主事

結果発表



全国学力・学習状況調査

☎ 学校教育課 ☎82-5221

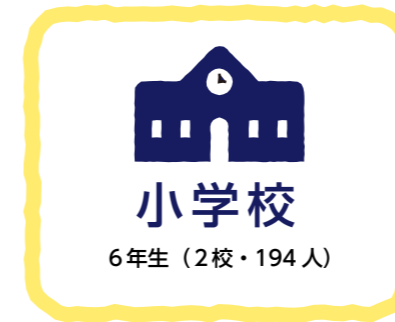
令和4年4月19日(火)に小学校6年生(2校・194人)と中学校3年生(161人)を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果から、本町の小・中学生の学力や生活習慣などの状況をお知らせします。



「いずれの教科も、全国の平均正答率と同程度でした」

その他の結果 (学習に関する意欲・方法・環境、生活習慣など)

「スマートフォンやパソコンの使い方について、家の人と約束を守っている」という回答が約77%と全国平均を上回る結果となりました。また、「自分には、よいところがある」という回答は約66%と全国平均を下回る結果となりました。



「いずれの教科も、全国の平均正答率と同程度でした」

その他の結果 (学習に関する意欲・方法・環境、生活習慣など)

「家で自分で計画を立てて勉強している」という回答が約81%と全国平均を上回る結果となりました。また、「読書が好き」と回答した割合が全国平均よりも高く、「読書が好き」と回答した児童のほうが、全教科において正答率が高い結果となりました。

国語の評価

「話すこと・聞くこと」に関する内容では、論理の展開などに注意して聞くことができるかどうかを問う問題などで良好な結果が見られました。文脈に即して漢字を正しく書く問題においては、正答率が全国平均をやや下回り、課題が見られました。

数学の評価

与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取るなど、「関数」の領域で良好な結果が見られました。データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題など、記述式の問題にやや課題が見られました。

理科の評価

4つの領域(物理・化学・生物・地学)全てにおいて、正答率が全国平均をやや上回る良好な結果が見られました。記述式の問題においては、無回答率が全国平均を上回る結果となり、課題が見られました。

国語の評価

「話すこと・聞くこと」に関する内容においては、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題などで良好な結果が見られました。漢字を文の中で正しく使う問題に課題が見られました。

算数の評価

分類整理されたデータを基に考察するなど、データの活用に関する問題において良好な結果が見られました。比例の関係にあることを用いた未知の数量の求め方と答えを式や言葉で記述する問題など、記述式の問題にやや課題が見られました。

理科の評価

実験で使用する器具の名称を答えるなどの知識・技能を問う問題、観察の結果からいえることを分析・解釈し、自分の考えをもつなど思考・判断を問う問題において、正答率が全国平均を上回る結果が見られました。

中学3年生 国語

問題 4

「途方に暮れた」の意味として最も適切なものを、次の①から④までの中から一つ選びなさい。

- ① どうしてよいか分からなくなった
- ② 同じことを繰り返していた
- ③ なつかしくなった
- ④ 夜になったことに気付いた

問題 3

「よろこんで」の下線部を漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

回答

小学6年生 算数

問題 2

オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。この飲み物1000mLには、果汁が何mL入っていますか。答えを書きましょう。

回答 mL

問題 1

オレンジの果汁が25%ふくまれている飲み物があります。飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表しましょう。

回答

正解は15ページに



解いてみよう!



実際に出題された問題